

国語 第1学年 令和7年度 年間指導計画・評価規準

学期	月	時	単元	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	4	2	学習方法と計画			・一年次の学習について意欲的に取り組もうとする姿勢がある。
		1	朝のリレー	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを		・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
		2	野原はうたう	・速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。 ・情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。		・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	5	4	はじまりの風	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →図などを使って、心情の変化を整理している。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 →場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。
		5	情報を聞き取り、要点を伝える	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 →日常の話題について、聞き取った情報を整理し、伝える内容を考えている。	・聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。
			言葉1 音声の仕組みや働き	声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている	・声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。	
			話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする	・集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す	
		1	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう	・漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		3	ダイコンは大きな根？	・本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	・「問い」と「答え」から中心的部分を捉え、筆者の主張を理解している。 ・文章を読んで理解したことや、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 ・新しく学ぶ言葉の意味を調べ、理解しようとしている。

6	3	ちょっと立ち止まって	・筆者の主張と事例との関係を理解している。	・序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 ・新しく学ぶ言葉の意味を調べ、理解しようとしている。
	5	情報整理のレッスン1 比較・分類	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。	・情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	
		情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	・声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている	・聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 ・聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
		言葉2 指示する語句と接続する語句	・小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	2	空の詩 三編	・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している		・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	3	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	・グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。	・調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにしている。 ・必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。	・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
7	2	語彙を豊かに心情を表す言葉	・詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。	・詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。 ・自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。	・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
	3	情報収集の達人になろう コラム 著作権について知ろう	・文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。	・各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。 ・文章を読んで理解したことや、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。 ・新しく学ぶ言葉の意味を調べ、理解しようとしている。
	2	言葉1 指示する語句と接続する語句	・指示する語句と接続する語句の役割を理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
	1	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目指して	・言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。		・今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。
	1	読書を楽しむ 読書案内	・さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。 ・読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。	・文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。 ・文章を読んで理解したことや、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
	6	大人になれなかった弟たちに・・・	・戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。	・描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。 ・文章を読んで理解したことや、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 ・新しく学ぶ言葉の意味を調べ、理解しようとしている。

2	9	6	星の花が降るころに	・様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。	・場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 ・文章を読んで理解したことや、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。 ・新しく学ぶ言葉の意味を調べ、理解しようとしている。
		1	聞き上手になろう 質問で話を聞きだす	・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	・話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。	・進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
		2	項目を立てて書こう 案内文を書く	・情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。	・伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。	・集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。
		1	[推敲]読み手の立場に立つ	・正確でわかりやすい表現に書き改めている。	・読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかななどを検討している。	・粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
	10	2	言葉2 方言と共通語	・共通語と方言の役割や特徴について理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
		1	漢字2 漢字の音訓	・漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短文を作ったりしている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		5	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	・筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。	・筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。 ・文章を読んで理解したことや、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 ・新しく学ぶ言葉の意味を調べ、理解しようとしている。
		1	思考のレッスン2 意見と根拠	・原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
		5	根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する	・情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。	・自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 ・自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出している。	・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
			漢字に親しもう3	・小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	11	4	[話し合い]話し合いの展開を捉える	・「上達のポイント」にある「根拠を述べる」「前の人意見を受けて話す」「自分の意見と比較しながら聞く」「意見を整理する」「話がそれたときは元の話題に戻す」を理解している。	・話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。	・進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。
			話題や展開を捉えて話し合おう グループディスカッションをする	・自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。	・話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。	・積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションしようとしている。
		1	聴きひたる 大阿蘇	・詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。	・繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。	・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
		1	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界	・言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 ・小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。		・古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。

	12	5	蓬萊の玉の枝 ―「竹取物語」から	・音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。	・「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。	・進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。
		3	今に生きる言葉	・音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。	・「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。 ・「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。	・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
		5	「不便」の価値を見つめ直す	・意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 ・要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。	・目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 ・賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 ・立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例	・積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・新しく学ぶ言葉の意味を調べ、理解しようとしている。
		2	助言を自分の文章に生かそう	・書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。	・読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。	・読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。
			漢字に親しもう4	・小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	1	2	文法への扉2 言葉の関係を考えよう	・「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。		・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
		8	少年の日の思い出	・場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。	・時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。 ・登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 ・別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。	・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 ・新しく学ぶ言葉の意味を調べ、理解しようとしている。
			漢字に親しもう5	・小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		4	二十歳になった日	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。→心情を表す語句や表現に着目し、感じたことを言語化している。		
		4	構成や描写を工夫して書こう 体験をもとに随筆を書く		・読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。 ・書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。	・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
	2	2	言葉3 さまざまな表現技法	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。		・積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
		1	漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6	・漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

